



●会派所属議員

田中 さとし

事務所 〒〒130-0024 東京都墨田区菊川 2-10-1
☎03-5625-3104

HP <http://www.s-tanaka.jp/>

ブログ <http://blog.goo.ne.jp/satosija2/>

新しい風を
すみだに
おこしたい!



【プロフィール】

墨田区生まれの墨田区育ち。昔ながらの人情味溢れるすみだの街を復活させたい。大学時代から政治に興味を持ち、弁論大会で優勝の経験もある。サラリーマン生活を経て、今期で三期目。地域では、町会の副会長や消防団員をつとめ、議員になってから、明治大学大学院ガバナンス研究科で、修士号を取得する。

所属委員会

企画総務委員会／行財政改革等特別委員会／
議会運営委員会

POLICY

- ①提案 常に区民の目線で、提案する事を心がける。
- ②議決 きちんと説明責任の果たせる決断
- ③行動 ガバナンス(協治)の推進をはかる。
- ④理想 人が輝くいきいきとした街づくり。
- ⑤発信 わかりやすく・丁寧な説明につとめる。

最近の議会活動、発言要旨

【第二回定例会本会議 代表質問から～区の災害対策と東京スカイツリー® 関連施策について】

- 3・11以降、震災対策は、勿論だが、ゲリラ豪雨などを含めた水害に対しても、油断は許されない。区内内部河川の耐震護岸工事、橋梁架替え工事等の早急な実現を、強く要望する。
- 現在、東京スカイツリー®の地域貢献策が議論になっているが、区内の小中学生の無料招待など、優遇策を求めるべきではないか。
- 東京スカイツリー®の賑わいを区全体に波及させ、街歩きを進めるために北斎美術館は必要な施設であるが、街を盛り上げる仕組みづくりこそ必要ではないか。
- かねてから主張してきたタワー新税導入は難しいとの結論のようであるが、法定外新税など工夫や知恵を使った財政運営に努めてほしい。
- 多くの壮年層が日中、街にいないのが現状である。今回の災害や協治・ガバナンスの担い手として、地域の中学生に大きな期待を寄せるべき。中学生による消火隊を早期に実現すべきと考えるが、教育長の考えを問う。

細田 一夫

事務所 〒130-0011 東京都墨田区石原2-15-9
☎03-3622-3779

HP 作成準備中

ブログ <http://kizuna-hosoda.cocolog-nifty.com/>

地域を元気に!!
町を元気に!!
町会の絆を
大切に!!



【プロフィール】

昭和10年創業ミュージックショップ音楽専門家(有)交楽堂代表取締役。石原生まれの石原育ち。

外手小学校PTA会長・こども会会長・商店会・町会の各役員として地域の絆づくりに取り組んで30年、下町のお節介オヤジとお節介オバサンに愛着をもつ、現職の「石原二丁目町会長」昭和25年1月26日生まれ。(1期目)

所属委員会

区民文教委員会／都市開発・災害対策特別委員会

POLICY

「良好な人と人のつながりが明るい町づくり、明るい町のつながりがやさしい地域をつくり、やさしい地域のつながりが住みよい墨田を創る」町会・自治会はそのための大切な地域の要、元気な町会・自治会づくりが住みよい墨田創生の基本。だからこそ、地域に根差した声を区政に届けたい。

最近の議会活動、発言要旨

【区民文教委員会】

●学校選択制に関する「もっと深い議論」を教育委員会に要望

学校が地域コミュニティ形成の核であるという観点から、学校選択のメリット、デメリットを問いかけて、子育て世代のご両親にとっては自分たちの教育方針に合った学校が選べること、学校間の競争原理による教師の質の向上などのメリットがある反面、地域の垣根がはずされた結果として地域でまとまっていた子供の弱体化がみられ、その活動を通じた地域との関わりが薄れる結果を招いていると指摘。地域コミュニティの次代の担い手である子供たちの育成という視点での深い議論が行われるよう要望。

【都市開発・災害対策特別委員会】

●福島原発事故による放射線量について

子育て世代を中心に乳幼児、児童への影響を心配する声を受けて行政としての放射線量の速やかな測定実施と的確な情報発信を要請。

西村 たかゆき

事務所 〒131-0045 東京都墨田区押上 2-7-2
☎03-3626-3122

HP <http://nishimura-takayuki.com/>

ブログ <http://takayuki-nishimura.cocolog-nifty.com/>

皆さんの想いを
区政に
つなげます



【プロフィール】

家業であるスポーツ衣料メーカーを経て、平成14年、墨田区向島に「小梅保育園」を開設。また、子どもたちや子育て支援を目的としたNPO法人「すみだすくすくネットワーク」を設立し、理事長に就任。その間、墨田区行財政改革推進委員等、区に関わる委員を歴任。平成23年統一地方選挙で初当選(1期目)。昭和42年8月15日生まれ。

所属委員会

福祉保健委員会／新タワー建設・観光対策特別委員会

POLICY

- ①提案 立法議会の一員として提案する議員
- ②議決 責任を持って議決する議員
- ③チェック 議決機関として、その後の執行状況をチェックする議員
- ④意見収集 フットワークよく区内を回り意見収集する議員
- ⑤情報発信 きめ細かく情報発信する議員

最近の議会活動、発言要旨

【福祉保健委員会】

●すみだ障害者就労支援総合センターについて

このような施設ができるということは、とても良いことだと思う。その一方で、仕事そのものの掘り起こしが重要になってくると思うが、その点についてはどのように考えているのか。また、実施主体は、どのようになっているのか。運営に関するランニングコストはどのくらいか。

●すみだ子育て支援ネット「はぐ(Hug)」について

子育て支援のメニューが増えるのは喜ばしいこと。ただ、子どもたちの安全には万全の対応が必要。そのために委託事業者任せにせず、区もしっかり関与すべき。尚、今後は病児保育の実施を視野に入れて施策展開をしていくということなのか。

【新タワー建設・観光対策特別委員会】

●「産業観光プラザ すみだ まち処」の運営事業者について

運営事業者が墨田区観光協会に決まったが、経費に対する運営の成果に関してしっかりとした検証が重要になってくると思うがどのようにしていく予定なのか。

小さくともきらりと光る 政策集団を めざします



地域連合「すみだの絆」は

地域に根差した課題や疑問を持ち寄り、じっくりと議論をしていくことで、すみだを暮らしやすく、過ごしやすいまちにしていこうと平成23年統一地方選挙で当選した無所属の議員3名で立ち上げた会派。無所属議員らしく、フットワークよく、まちと行政の「かけはし」となることを目指しています。また、議決については、拘束をすることなく、議員一人ひとりの判断を尊重することを旨としています。